

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	李 艶	所属	聖泉大学 人間学部
研究集会等名称	文化と心理学		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）          会員 7名（うち認定心理士 7名）          非会員 7名（うち認定心理士 5名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等          （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）          2014年度助成研究期間には、研究会6回、一般公開講演会は2回を開催した。          研究会の主要なテーマ：          「人間はどのように一つの心、多様な文化を持つのか」          「心理臨床における文化・文化差について」          「認知されたストレスについての比較文化的研究」</p> <p>一般公開講演会          一回目（通算6回目）          2015年2月21日に公益法人 大学コンソーシアム キャンパスプラザ京都に開催された。講演は長年日本に在住されており、いくつかの大学において、英語や欧米文化（異文化理解）について授業をされてこられた先生をお招きして、真の心の触れ合いについて講演をして頂いた。</p> <p>二回目（通算7回目）          2015年3月21日に公益法人 大学コンソーシアム キャンパスプラザ京都に開催された。          講演の要旨は「日本人の心理的葛藤の一端にふれながら、日本人の考え方について考えてみた。このために使ったのは言語学の意味論・語用論における「意味成分」分析であった。それを「言語カテゴリー」として取り扱うことにした。こうすれば、哲学や心理学などとは競合しない。さらに、日本人の心理とも関わる日本語の発想や表現法を追加したので、多少は言語心理学的になったかもしれない。」</p> <p>本研究会では、心理学の各分野の研究者を交えて、文化と心理についての関連について、研究会・公開講演会にて成果を披露した。</p> <p>今後、今までの研究成果を纏め、次年度の研究会の企画を立てて、取り組みの準備を進む。さらに、研究メンバーがそれぞれの分野から話題を提供し、全員で検討・討議した結果をまとめ、国際応用心理学会（2016ICP）並びに日本心理学会大会にてワークショップとして研究発表を披露する。また、論文として纏める。</p>		

2015年3月31日

日本心理学会研究会 2014 年度会計報告書

研究会名称	文化と心理学研究会
研究会番号	研 14011

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2015年2月21日	講師謝礼と交通費 (第1回公開講演会)	¥15,000
2015年2月21日	会場費と機材費	¥4,060
2015年3月21日	会場費	¥2,260
2014年3月31日	講師謝礼 (第2回公開講演会)	¥10,000
	合計	31,320